



うしく通信

注射後の入浴は



注射後に、入浴を控えるように指示されることがあります。注射部位を暖め過ぎることで炎症が起きてしまうなどの問題を避けるためですが、**最大の理由は注射針の穴から注射した部位に細菌感染を起こさないようにするためです。**



注射による感染の原因は、皮膚表面にいる常在菌と呼ばれる主に**ブドウ球菌**などを、皮膚の消毒不足のため針を刺した時にいっしょに押し込んでしまう場合がおおく、さらに注射した時にできた穴から、注射のあとで細菌が入り込んで感染を起こすことも考えられます。

そのため、注射の時は清潔な操作で器具を汚染しないようにし、皮膚をよく消毒して、注射の後には絆創膏などで覆います。**アメリカでは筋肉注射などは皮膚の消毒もしないと聞きますが、日本の湿気や日本人の気質から、やはり消毒なしで注射することには強い抵抗があるでしょう。**

では、注射の後、細菌が穴から入り込んで感染を起こす確率がどのくらいあるのかといえ、正確なデータは無いのですが、**糖尿病の方など特別なケースを除いてほとんど感染は無いといわれています。**免疫力が落ちている状態でなければ、皮膚や皮下の穴はすぐにふさがって、シャワーなら数時間後には問題ないといわれています。



しかし、湯船につかることとシャワーを浴びることは少し条件が異なります。シャワーを浴びてもお湯は皮膚の上を流れ落ちるだけですが、入浴するとお湯の中に体がつかり、針の穴に水圧がかかります。水圧でお湯がしみこんでいく可能性があります。



一番問題になるのは、感染に弱い、関節への注射の場合です。関節軟骨には血管が無く、主に血液から運ばれる**白血球などの感染を防ぐ細胞に乏しい部位なので感染に弱い**のです。その関節注射後に、風呂を何時間制限するかに関しては様々な議論があります。皮下や筋肉はすぐに閉じるので、入浴の制限は必要ないという意見や、数時間または12時間以上禁止にしたりするという意見もあります。

慎重に対応するとすれば、**筋肉注射や静脈注射の場合、注射後3時間風呂に入らないように説明し、関節注射の場合は6時間、関節液を抜く場合は太い針を使うので、12時間入浴を避けるようにします。**



当院では関節注射後に防水テープを貼らせていただいておりますので、直後でも入浴は可能です。

感染は何万回か注射をすれば起こりえる不可避の事故とは言え、一度起こると患者様の不利益は大きいので、医師も患者様ご自身も十二分な注意が必要です。

院長コラム
イギリスでの話です。突然大量の血、救急病院に行っただけで原因について何も言われず、翌日ホームドクターを受診し「薬の効果が無いね」と言われ、病院で精密検査を受けたいと希望しても「もう少し様子を見よう」と言われ、2週間後大量出血して入院した病院で医師の診察もまともに受けられず、検査もなく、明日の午後に退院して良いと言われた・・・
英国のがん患者の4人に1人が、悪化してから救急部門で初めてがんと診断され、うち大半は数週間以内に死亡しているとの調査結果を英研究機関が最近まとめた※。
日本の医療制度の素晴らしさを実感する話でした。